

ポイント1：低水位でも安全と工程を両立した施工管理を

堤外・河川周辺・ダムでの作業員・重機・機材等の安全管理
に対して以下のような課題をお持ちではありませんか？

- ◇ 工程を重視した判断（遅い待避判断）では被災の可能性
- ◇ 安全を重視した判断（早すぎる待避判断）では工期が逼迫
- ◇ 堤外の安全管理上の情報が不足

自治体の避難情報は住民向けで、多くの河川は水位観測値や
周囲の予報雨量しか取得できない現状があります。

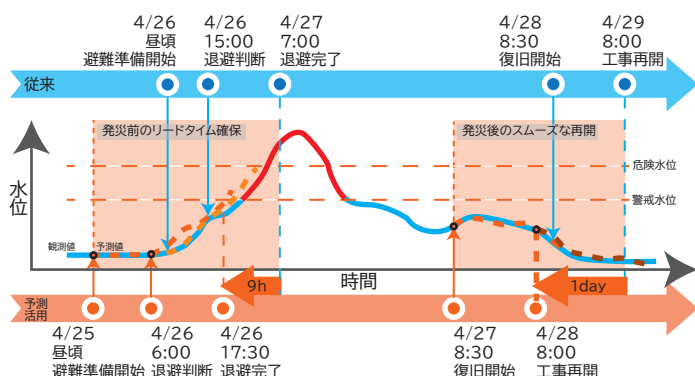
現場に即したピンポイントな河川水位予測が、低水位から高
水位までをカバーし、安全と工程の両立を手助けします。



工事現場での RiverCast 活用例

「国道210号赤岩西地区災害復旧工事」(大分河川国道事務所発注
工事)においてRiverCastを導入

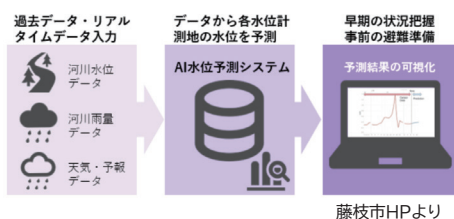
従来のフローと比較して、待避に+9時間、復旧・工事再開に+1日
のリードタイムを確保！



ポイント2：水防の現場でリードタイムを確保

藤枝市様：市内中小河川の支流でご利用

市独自に設置した水位計とリアルタイムに連携した予測システムを
利用いただいています。令和5年6月の大雨では、予測情報を活用
し早期の水防活動を実現しました。



藤枝市HPより

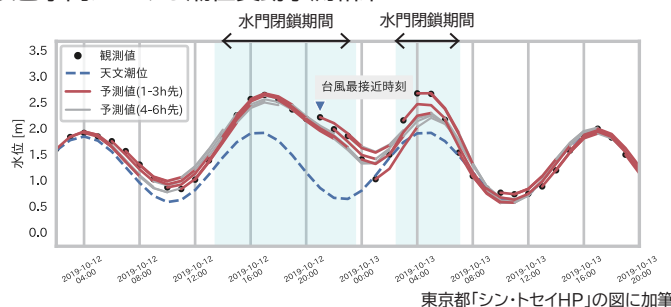
早めの交通規制や
人員の確保を行う
ことができました！



東京都様：台風・低気圧に伴う潮位変動の予測

首都を高潮から守る水門。今後の風や気圧などの情報をもとに潮位
変動を予測し、水門操作員への情報提供を行っています。

辰巳水門における潮位変動予測結果



東京都「シン・トセイHP」の図に加筆

ポイント3：住民避難が必要な水位上昇も事前に察知

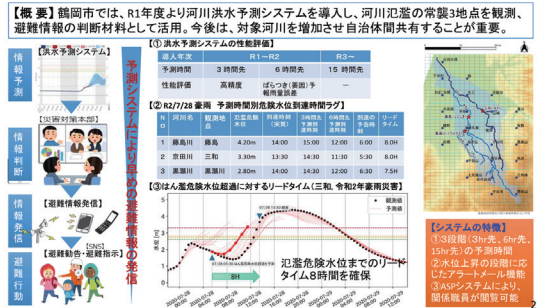
鶴岡市様：地域防災計画でのRiverCast活用

令和2年7月豪雨では市内の河川がこれまでに経験したことの
無い大雨に見舞われましたが、水位予測を活用することで氾濫
危険水位到達まで8時間のリードタイムを確保できました。

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

山形県鶴岡市

〇河川洪水予測システム(県管理2級河川、鷹島川、京田川、黒瀬川)の活用

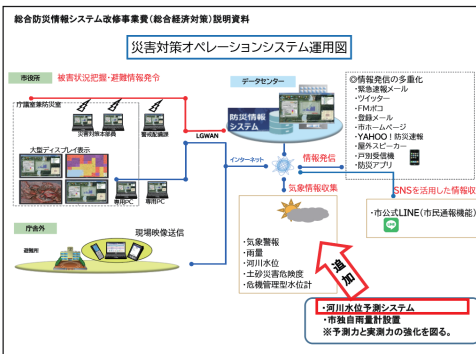


赤川流域治水協議会資料より

福島市様：既存の総合防災情報システムとの連携

使い慣れたシステム画面にRiverCastによる予測を組み込むこと
で大きな負荷なく予測システムを運用しています。

令和5年度中に2度の集中豪雨に見舞われましたが、避難所開設・
避難情報発令のための情報として有効活用されました。



福島市令和5年3月市議会定例会議 総務常任委員会資料に加筆

水位上昇の見通しが
立つので心理的負担
も軽減されました！



導入実績：国土交通省徳島河川国道事務所、NTT西日本、神奈川県川崎市、山形県鶴岡市、熊本県大津町、静岡県藤枝市、福島県福島市
(敬称略) 鹿島建設、大林組、清水建設、大本組、西松建設、西武建設、前田建設工業、香山組、横川INSエンジニアリング
その他ゼネコン各社、橋梁メーカー、遊水地施設管理者に導入。全国の地整、農政局、都道府県、道路会社発注工事にて多数採用。

